

特集

家庭訪問

現代の保健師活動における意味を問い直す

現場の声から探る家庭訪問の現状 ————— 大西章恵

事例から考える家庭訪問の意義①

地域とつながる家庭訪問 住民の暮らしをみつめて ————— 水戸部可奈

事例から考える家庭訪問の意義②

家庭訪問を重視した保健師活動 ————— 藤原由紀

熟練保健師の実践から学ぶ 家庭訪問の意義と技 ————— 田村須賀子

住民の立場から考える また来てほしくなる家庭訪問 ————— 河島貴子

編集後記

●最近、自転車で通勤する「ツーキニスト」が増えているという。満員電車で揺られることなく、交通渋滞にも巻き込まれず、環境にも優しい自転車通勤。有酸素運動であるサイクリングは健康にもよく、保健師的に見れば、脱メタボにも◎ってわけである。

ツーキニストの名付け親である正田智氏は、自著の中で自転車通勤できる許容範囲を15～20kmまでと述べている。自宅と会社の距離を計算してみたところ、約12km。おお、これはいけそうだというわけで、先日、一日限定、自転車通勤を敢行。ロードバイクに乗り、前傾姿勢を維持したまペダルをこぐこと40分。思いの外すんなりと会社に到着。ロングライドに慣れていたので、体力的には全く問題なし。ああ、これはありだなと思った。

ただ、毎日できるかとなると「？」マークが点灯する。まず雨の日は乗る気がしないし、何より通勤時間帯の東京の幹線道路を走るのはリスクが伴う。法律では車道を走ることが原則とされているが自転車専用道がない日本は、自転車弱者社会だ。特定財源で無駄な道路を造るなら、海外のように自転車専用レーンを造ってほしい。通勤＝生活習慣病対策になれば、余分な時間と金を省くことができるかもしれない。何も健診や保健指導だけが全てではない。(和田)

●フランスのお鍋を買いました。ホーローでできた重くて大きなお鍋です。持って帰るのが億劫でいままで躊躇していたのですが、ほしかった色が某オンライン書店に入荷しているのを見つけてしまい、うっかりワンクリックしてしまいました。しかも2回も。そう、うっかりは衝動買いだけじゃなく、間違って2つ注文してしまったんです。慌ててキャンセルしようとしたのですが、注文翌日に配達されるサービスを利用していたため、発送準備中でキャンセル不可。翌日、ちゃんと2つ届いてしまいました。到着から30日以内に返品すれば大丈夫なのですが、この重いお鍋の送料を考えると、もうトホホとしか言いようがありません。

こうなったらとことん使ってやろうと、1つだけ梱包を解いているいろいろなものを作っています。このお鍋を使うと素材の味をぎゅっと閉じ込めたような味に仕上がるので、家でごはんを食べるのが格段に楽しくなりました。そもそもダイエットのためもある自炊しているのに、これでは逆効果でしょうか。大きなお鍋も使い慣れるとあまり重くも感じなくなり、もう1つあってもいいかなという気になってきます。返品する予定の鍋を横目で見つつ、うっかりもたまにはいいのかなあ、なんて考えたり…これだからそろっかしい性格が直らないんですよええ。(栗原)

保健師ジャーナル 第64巻7号 2008年7月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2008年々ぎめ予約購読料15,000円(税込、送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/和田・栗原・安部

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199)の承諾を得てください。1348-8333/08/¥250/論文/JCLSが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCLS宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。